



平成23年5月6日

各位

上場会社名 株式会社 幸楽苑
 代表者 代表取締役社長 新井田 傳
 (コード番号 7554)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 武田 典久
 (TEL 024-943-3351)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,300	2,640	2,698	1,167	70.74
今回修正予想(B)	33,932	1,959	2,025	662	40.72
増減額(B-A)	△2,368	△680	△672	△505	
増減率(%)	△6.5	△25.7	△24.9	△43.2	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	35,584	2,433	2,477	1,087	66.91

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,257	2,568	2,652	1,128	68.39
今回修正予想(B)	33,881	1,872	1,972	623	38.35
増減額(B-A)	△2,375	△696	△680	△504	
増減率(%)	△6.5	△27.1	△25.6	△44.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	35,531	2,312	2,381	1,005	61.84

修正の理由

売上高につきましては、新規出店数は15店舗の計画に対して14店舗の出店となり、ほぼ計画通りとなりましたが、既存店売上高のマイナスが大きかったことから前回発表予想を下回る見通しとなりました。既存店につきましては、店舗QSCレベル向上や新商品投入等の諸施策を実施することで、売上高前年対比0.5%のプラスを計画しておりましたが、厳しい経営環境や夏場の猛暑、競合他社との過剰な低価格競争を回避するため値引き等の販売促進活動を自粛したことに加え、3月の東日本大震災発生直後に184店舗が営業停止を余儀なくされた影響により、6.3%のマイナスとなりました。なお、営業停止店舗については順次営業を再開しており、3月末時点での営業停止店舗は12店舗まで改善することができております。

営業利益、経常利益につきましては、原価率はほぼ計画通りとなり、販売及び一般管理費は売上高に応じた適正就労時数管理の徹底や販売促進費節約等のコストコントロールに努めてまいりましたが、売上高減による売上総利益のマイナスを吸収しきれず、前回発表予想を下回る見通しとなりました。

当期純利益につきましては、経常利益のマイナスに加え、東日本大震災による特別損失を計上(3店舗のスクラップを含む)したほか、不採算店舗のスクラップ計画6店舗に対して8店舗を実施したことによるスクラップ費用等の増加や投資有価証券評価損が計画外で発生したこと等により、特別損失が計画を上回る見通しとなっていることから、前回発表予想を下回る見通しです。

この結果、前回発表の通期業績予想に対して、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益ともに下回る見通しにあり、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上